

## 第 4 回 歴史文化保存展示施設専門検討委員会 意見要旨《発言順》

議題(1)「増設建物の考え方について」 ア 株式会社トータルメディア開発研究所より提案		
No.	内容	
1	質問	国宝や重要文化財を展示する施設とするのか。
	回答	博物館法における博物館にするかなどについては、まだ決まっていないため、今後の検討による。
2	意見	世界こども美術館の建物のコンセプトは「白い船」のイメージであると認識している。日本海側から見ても、山側から見ても「白い船」として見える必要があり、2階建にすると窓に増設建物がかかり船のイメージが損なわれないか心配である。
3	意見	私は世界こども美術館の建設にも関わった。建物のコンセプト・キーワードは「日本海に浮かぶ船」であり、山側から見えるイメージが重要であった。

議題(1)「増設建物の考え方について」 イ 現地見学		
No.	内容	
	増設建物について、3階多目的ホールより確認した。受付・収蔵庫について、1階図書室・準備室、3階コレクション室を見学した。	

議題(1)「増設建物の考え方について」 ウ 検討結果		
No.	内容	
1	質問	世界こども美術館1階の床と増築部分の敷地のレベル差はあるか。増設部分が高ければ、地面を削って建てる必要も生じる。
	回答	世界こども美術館1階の床の方が低い。歴史文化保存展示施設の対象年齢やバリアフリーの考え方など今後の議論を加味しながら、接続部分については検討が必要であると考えている。
2	意見	美術館施設は建物自体のイメージも重要である。増設部分が高いと景観が損なわれる気がする。地面を削れるなら削ってもよいと思う。

3	意見	<p>下記の理由により、C案(2階建 片流れ屋根 延床面積 800 m<sup>2</sup>)が良いと思う。</p> <p>整備方針に基づく案は、美術館内に収蔵場所を設けるもので、それでは美術館・歴史関係の両方とも業務が難しくなると感じる。A案(平屋建 平屋根 延床面積 660 m<sup>2</sup>)では、大きな建物が隣接するため、圧迫感を感じる。B案(2階建 平屋根 延床面積 800 m<sup>2</sup>)は、雨漏り等のメンテナンスを考えると、平屋根では良くない。片流れ屋根とした場合でも、案では海側に流れているが、海風がとても強いため、傾き方向を変えることも考えてよいと思う。</p> <p>また、現在の案では、増設部分と美術館が 2.5mしか離れていないため、圧迫感が生じざるを得なく、接続部分も渡り廊下的な使い方しか望めない。増設部分をもう少し海側に離せば、建物同士の圧迫感は減じられ、接続部分も歴史展示へのアプローチとして活用の幅が広がるのではないかと。</p>
4	意見	<p>C案がよい。片流れ屋根の方が、落ち葉対策にもなる。</p> <p>整備方針にある 1 階の収蔵スペースは狭い。またそこから狭い通路を通って資料を運ぶのも大変な作業となる。外から直接資料搬入できる入り口も必要だろう。</p>
5	意見	<p>C案が良い。また、建物間を離してアプローチの有効利用をしたい。増設部分の 2 階は、天井が下がっているため、使い勝手は悪そうではあるが、収蔵資料の選別を行うことにより、有効面積の少なさはカバーできるのではないかと。</p>
6	意見	<p>C案が良い。ただ、建物間は離れたほうがよい。</p> <p>現状でも、美術館の収蔵スペースは限られていると感じ、美術館のスペースを取るのはいかがでしょうかと思う。また、収蔵庫も歴史展示は歴史展示で独立した形がよいと思う。</p>
7	意見	<p>C案が良い。前回までの議論で、学校からの希望として、学習スペースの確保を意見したが、増設部分の 2 階に収蔵スペースが確保できれば、美術館のコレクション室などが活用できるのではないかと。増設部分に必ずしも学習スペースが必要というわけではない。</p>
8	意見	<p>C案が良い。学習スペースも既存施設を活用すればよい。C案の 1 階、2 階の天井高を再考する必要があるだろうか。</p>
9	質問・意見	<p>C案が良い。2階の天井については工夫が必要であろう。</p> <p>質問だが、歴史展示の受付はどこでするのか。また、1階の入り口はどうするのか。</p>
	回答	<p>整備方針では、受付は 2 階で統一する考え。1階の入り口に関しては、今後の検討課題である。</p>
10	意見	<p>C案が良いと思うが、増設部分の地盤等が問題となってくるだろう。また経費の問題もある。</p>
	意見	<p>地盤については、ボーリング調査を予定している。</p>

11	意見	2階建はそもそも眺望が阻害される。また、建物を離せば、それだけ眺望も損なわれる可能性がある。また、2階建だと、エレベーターや階段等も必要となるため、有効面積は減る。
12	意見	トータルメディアのイメージ図が正確であれば、C案が良いと思う。まだ、建築設計をしていない段階なので、正確な図面作成は不可能であるが、今回のハード部分への議論を念頭に置きつつ、ソフト面の議論に移る必要があるだろう。
13	意見	今回の議論で、収納スペースの問題はクリアーされると感じたが、燻蒸スペースについても今後、議論が必要であろう。
14	総括	C案(2階建 片流れ屋根 延床面積800㎡)を推す意見が多かった。しかし、委員などの話にもあったように、地盤調査や建築設計を待つ必要がある。今後はソフトの議論を進め、ハードとソフトの両輪で議論を深める必要があるだろう。 今後の議論では、増設建物イメージとしてC案を念頭に置きつつ進めてもらいたい。